

(19)日本国特許庁（J P）(12)登録実用新案公報（U）(11)実用新案登録番号
第3029661号

(45)発行日 平成8年(1996)10月1日(24)登録日 平成8年(1996)7月17日

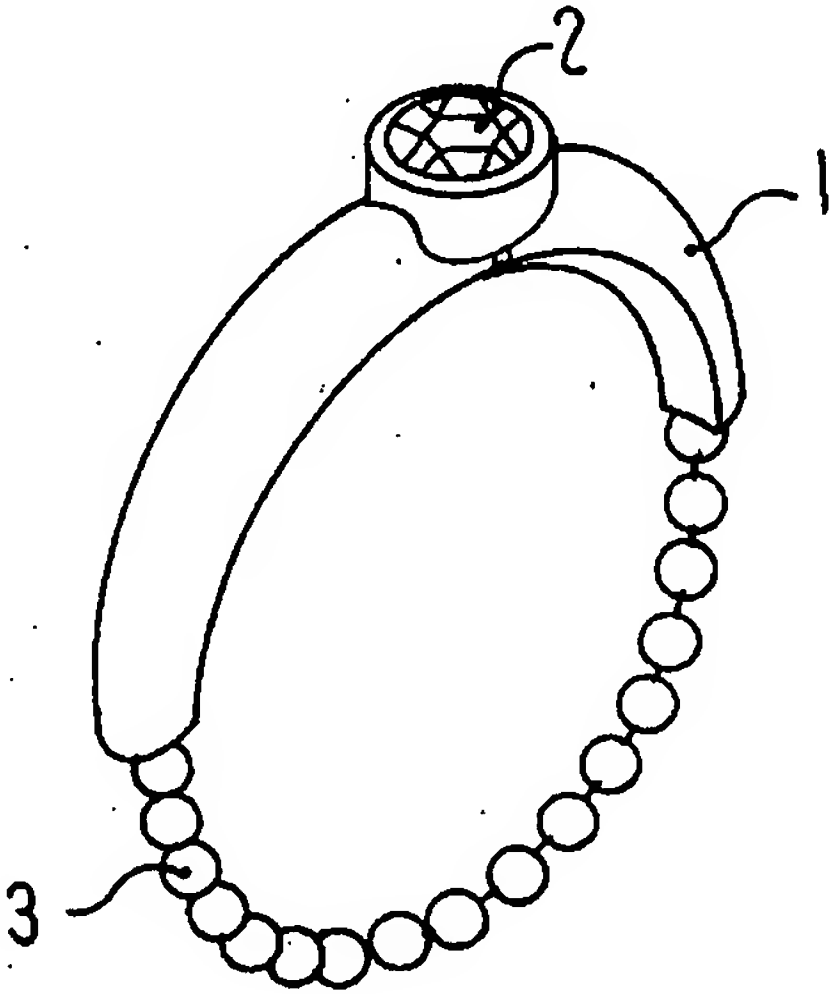
(51)Int.Cl.⁶識別記号庁内整理番号F I技術表示箇所
A 4 4 C 9/02A 4 4 C 9/02

評価書の請求 未請求 請求項の数1 書面（全 4 頁）

(21)出願番号	実願平8-3800	(73)実用新案権者 594109901 木村 俊彦 東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目33番7号 202号室
(22)出願日	平成8年(1996)4月1日	(72)考案者 木村 俊彦 東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目33番7号 202号室

(54)【考案の名称】 伸縮自在指輪

(57)【要約】
【目的】 本考案はサイズ直しせずに各指に対応出来ることを特徴とする指輪である。
【構成】 半円状に形成された支持部材の内部に、引きバネを設け、このバネの両サイドに、チェーン式部材を固定しリング状に構成している。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 半円状に形成された支持部材の内部に、引きバネを設け、このバネの両サイドに、チェーン式部材を固定しリング状に形成され、各指のサイズに対応できることを特徴とする指輪である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の斜視図である。

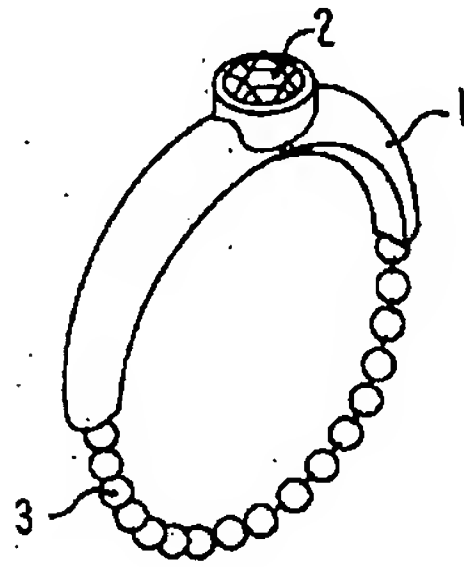
【図2】 本考案の断面図である。

* 【符号の説明】

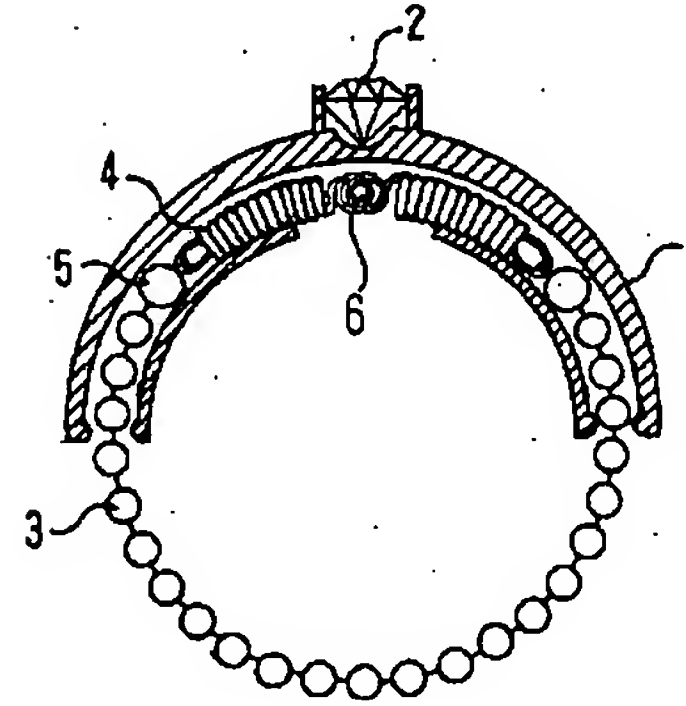
- 1 支持部材
- 2 宝石、装飾体
- 3 直径2.5mmボールチェーン
- 4 引きバネ
- 5 直径3.5mmボールチェーン
- 6 引きバネ固定部材

*

【図1】



【図2】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

この考案は、指輪、に関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来、指輪はサイズ直ししないと使用出来なかった。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

これは次のような欠点があった。

(イ) 従来の指輪だと各指ごとに購入しなと駄目なので費用がかかる。

(ロ) 従来の指輪だと家族、友人での貸し借りが出来なかった。

(ハ) 従来の指輪だと手がむくんでいる時は指に入らなかった。

本考案は、これらの欠点を除くためになされたものである。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

上記目的を達成するために、本考案は半円状に形成された支持部材の内部に、引きバネを設け、このバネの両サイドにチェーン式部材を固定しリング状に形成し、各サイズの指に対応出来る用に構成している指輪である。

【0005】**【作用】**

上記のように構成された指輪は、ボールチェーンの回転作用により非常に楽に指に挿入が出来、引きバネの作用により装着感が良く、すべての指に対応出来るものである。

【0006】**【実施例】**

以下、本考案の実施例について説明する。

半円状に形成された支持部材の内部に、引きバネを設け、このバネの両サイドにチェーン式部材を固定しリング状に形成することにより、使用者のどの指にもサ

イズ直しせずに使用出来るため家族ぐるみで貸し借りできる、したがって楽しく
経済的に使用出来る。

【 0 0 0 7 】

【考案の効果】

一個の指輪で、各指に対応でき、一生一代使用でき経済的である。